

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	住之江区
学 校 名	大阪市立南港光小学校
学校長名	北村 満夫

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・南港光小学校では、第6学年 39名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪市と比較して、国語は2ポイント高く、算数は同じで、全国平均正答率と比較すると、国語は0.3ポイント高く、算数は0.8ポイント低かった。よって、国語の正答率は、大阪市と全国平均をどちらも上回ることができた。また、平均無回答率は、大阪市と比較すると、国語・算数ともに0.3ポイント低く、全国と比較すると、国語では1.2ポイント、算数では、0.5ポイント低かった。よって、無回答率は国語・算数ともに大阪市及び全国平均より低く、問題に積極的に回答することができていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「書くこと」の領域では、大阪市平均より9.8ポイント、全国平均より5.5ポイントも上回っている。記述式の問題への正答率も高く、日常の授業に「書く活動」を多く取り入れている成果が表れたと考えられる。「話すこと・聞くこと」の領域は、大阪市平均より1.3ポイント、全国平均より4.8ポイント、「読むこと」の領域も大阪市平均より1.2ポイント、全国平均より4.9ポイント下回った。自分の思いを言葉で表現することが苦手な児童が多くいることや1時間以上読書をする児童の割合が少ないことがわかり、改善が必要である。

〔算数〕「図形」領域では大阪市平均より4.8ポイント、全国平均より2.3ポイントも上回っている。ICT機器の活用した授業の効果が出てきたといえる。しかし「量と測定」の領域では、約9ポイント、「数と計算」領域では約6ポイント下回った。基礎学力の定着と個別最適化された学力の向上が課題であると考えられる。今年度は、算数科において「主体的・対話的で深い学び」を充実させる研究及び「ブロック別学力推進事業」における算数科の研究に学校として取り組んでいる。

質問紙調査より

児童質問紙によると「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の肯定的回答率は92%と高いが「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の肯定的回答率は53%と低い。校内研究において、児童同士の対話を通して学びを深める学習を推進する必要がある。「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の肯定的回答率は81%で高く、粘り強く問題に取り組む児童が多い。習熟度別少人数学習等で、個別にきめ細やかな指導を行っている成果が、児童の意欲を高めることにつながっている。ICT活用に対する肯定的回答率が23%と大変低い。ICTを積極的に活用して「友達と意見を交換したり、調べたりする」授業をさらに展開していく。

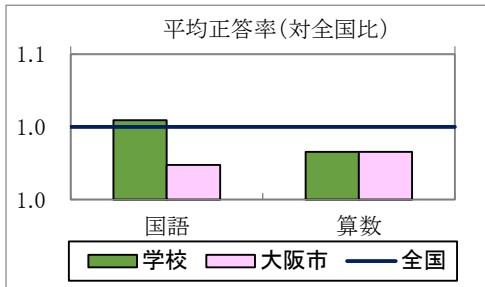
今後の取組(アクションプラン)

コロナ禍でも感染予防に取り組みながら、グループ等で話し合う活動を多く取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりさせる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたさらなる授業改善を行う。ICTを活用した授業づくりは今後も続けていく。算数科では、基礎学力の定着を図るため、反復学習や小テストなどを活用した学習、個別最適化した学びを推進していく。また、学力向上を目指す研修を企画実施したり、学力経年調査や全国学力学習状況調査の結果をもとに、課題を分析し、系統的に取り組んでいけるようにしたりしていく。

【 全体の概要 】

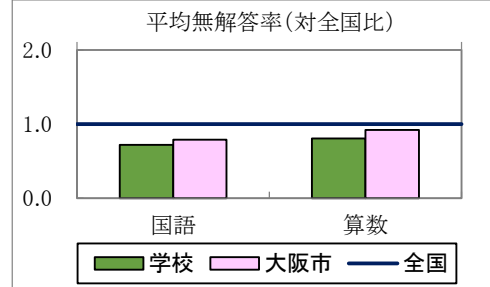
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	65.0	69.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



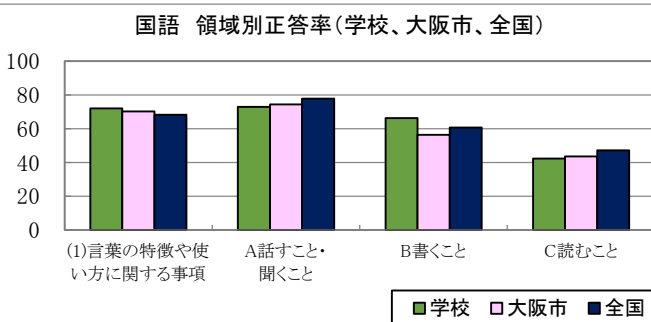
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.1	2.1
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6

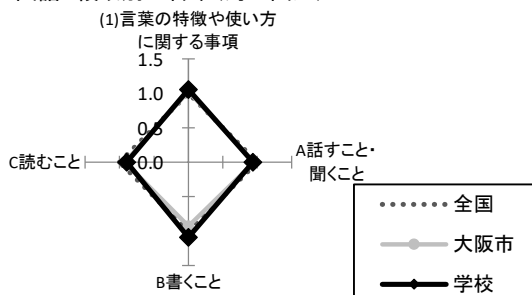


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	72.1	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	73.0	74.3	77.8
B 書くこと	2	66.2	56.4	60.7
C 読むこと	3	42.3	43.5	47.2

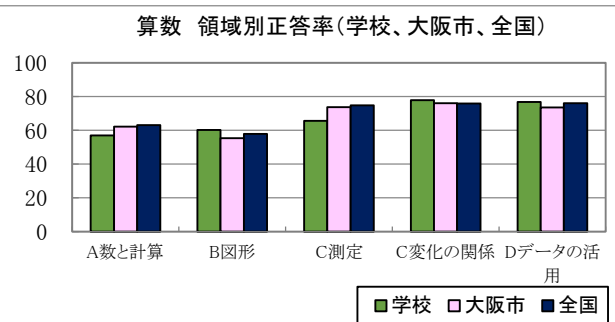


国語 領域別正答率(対全国比)

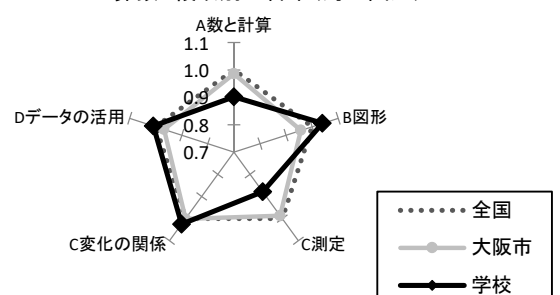


【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	56.9	62.2	63.1
B 図形	3	60.2	55.4	57.9
C 測定	3	65.7	73.8	74.8
C 変化と関係	3	77.8	76.0	75.9
D データの活用	5	76.7	73.6	76.0



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

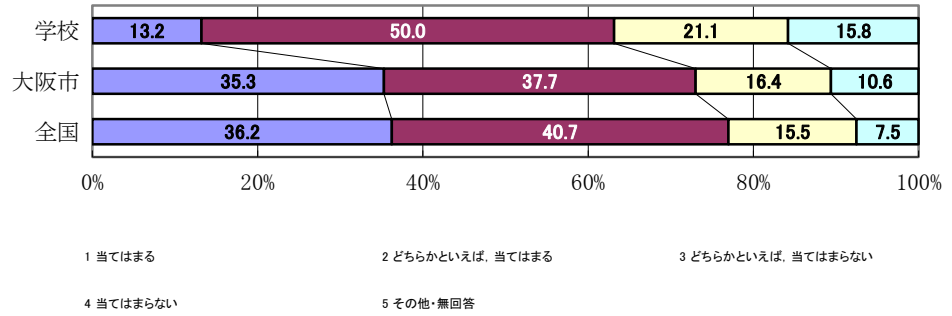
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

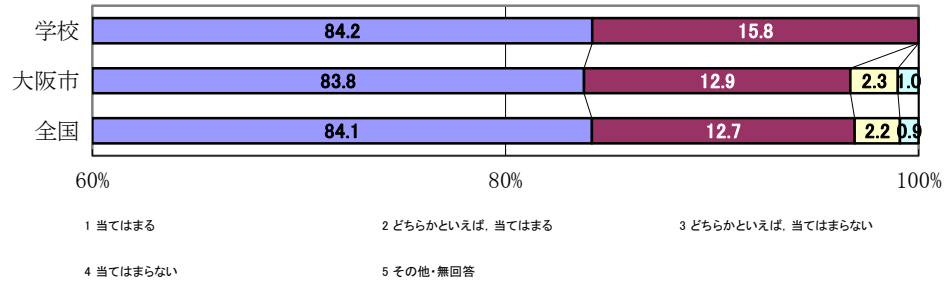
6

自分には、よいところがある
と思いますか



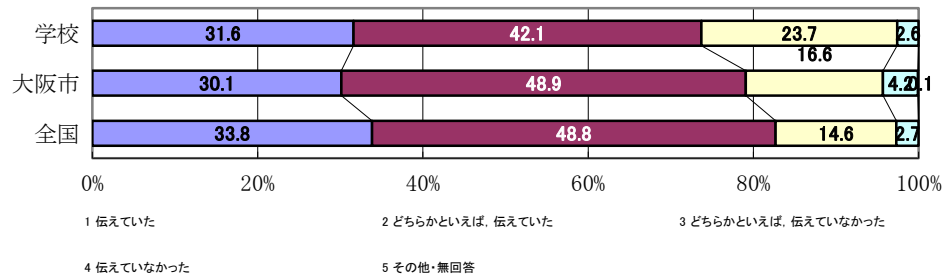
11

いじめは、どんな理由が
あってもいけないことだと思
いますか



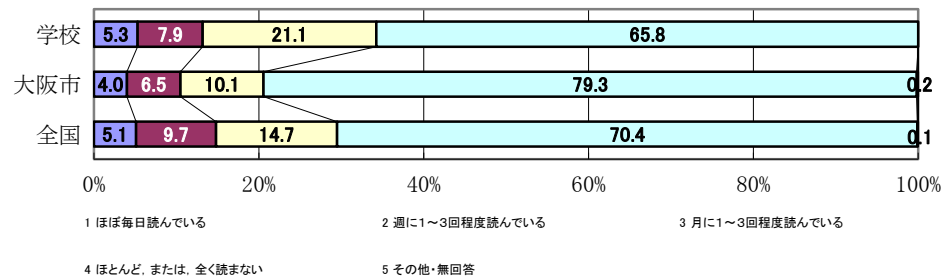
31

5年生までに受けた授業では、学
級の友達との間で話し合う活動で
は、話し合う内容を理解して、相手
の考えを最後まで聞き、友達の考
え（自分と同じところや違うところ）
を受け止めて自分の考えをしま
り伝えていましたか



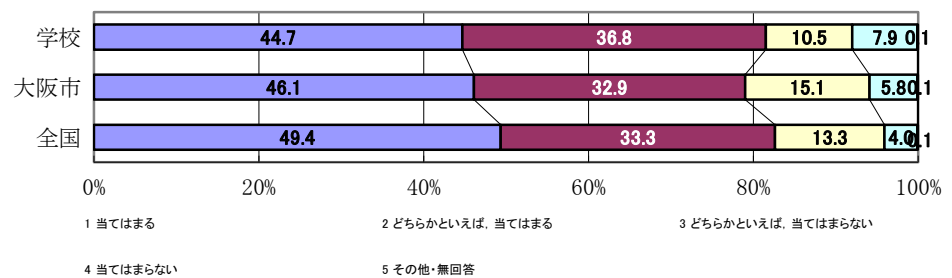
23

新聞を読んでいますか



57

算数の問題の解き方が分
からないときは、あきらめず
にいろいろな方法を考えま
すか。



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

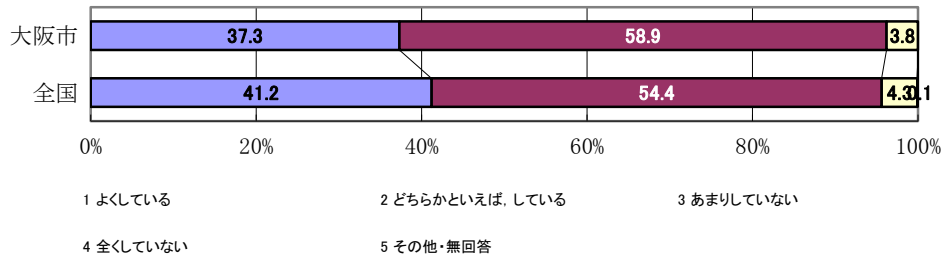
質問番号

質問事項

21

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

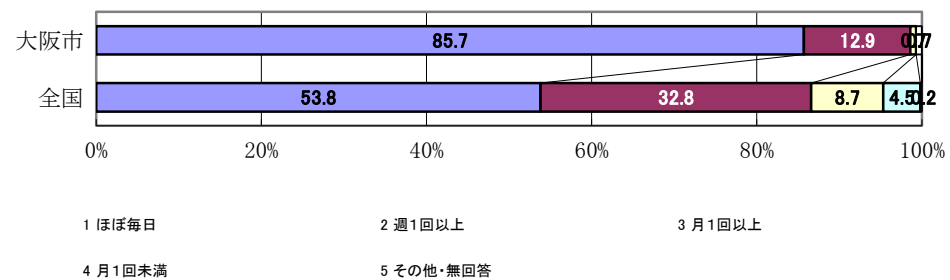
学校 「よくしている」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

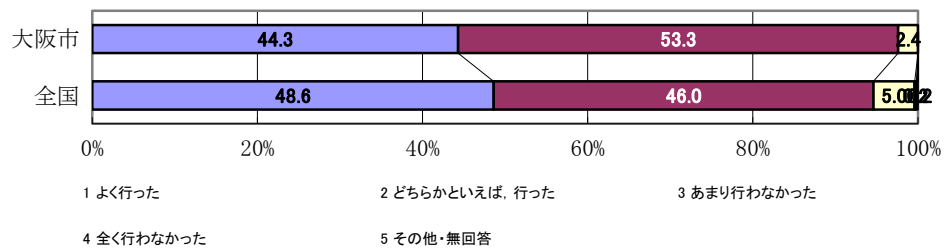
学校 「ほぼ毎日」を選択



55

調査対象学年の児童に対する算数の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか

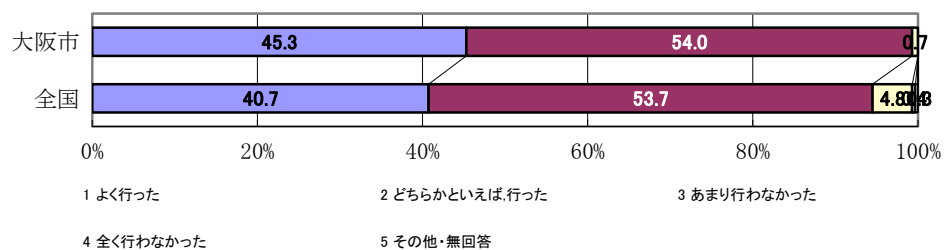
学校 「よく行った」を選択



76

学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

